

「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 4 月 15 日

事業名称		東大和市社会福祉協議会運営・補助事業費 [福祉サービス総合支援事業委託事務]										
予算科目	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	1	社会福祉総務費	事業番号	15	
事業の種別	☐ 市単独 ☒ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)											
担当部署・課長名	福祉推進 課 庶務 係					課長名	山田 茂人					
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	2 - 6			
【施策名】 地域福祉の推進								総合計画書 (ページ)	65			
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 要支援・要介護高齢者の支援が必要な高齢者及び身体障害者					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 相談件数(重複相談を含む)件						
	→											
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] サービス利用者等が、サービスを安心して選択し、利用できるようにする。					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 福祉サービス利用援助事業契約件数 ① 利用相談等の窓口開設 ② 専門相談窓口開設						
	→											
2 指標の推移	③ そのために何をしましたか。 相談窓口を開設し、利用者をサポートした。また、苦情対応機関を設置し、安心して利用できるようにした。		③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 開設日数									
	→											
3 経費			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標				
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績		令和3年度目標		令和4年度目標		
	対象指標	①の数値	件	530	613	948						
	成果指標	②の数値	件	48.0	56.0	54.0						
	目 標	②の目標値										
		目標値設定の考え方 相談からサービスに結び付いた割合。										
	活動指標	③の数値	日	238	244	243						
3 経費	事業費(実績)		円	6,237,650	6,210,224	8,624,802		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、 8,380,000円 時間単価は、 4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円	3,383,650	3,381,224	4,277,802						
		特定財源(国・都・他)	円	2,854,000	2,829,000	4,347,000						
		(うち受益者負担)	円									
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.25	0.25	0.25						
		所要人数(再任用)	人									
		職員人件費(再任用以外)	円	2,061,000	2,077,500	2,095,000						
職員人件費(再任用)		円										
事業費+人件費		円	8,298,650	8,287,724	10,719,802							
4 環境変化等	(1) 開始年度		平成14 年度									
	(2) 環境の変化											
	相談窓口を開設し、利用者をサポートした。また、苦情対応機関を設置し、安心して利用できるようにした。											

事業名称	東大和市社会福祉協議会運営・補助事業費〔福祉サービス総合支援事業委託事務〕				
担当部署・課長名	福祉推進	課	庶務	係	課長名 山田 茂人

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 専門員、支援員によるきめ細やかな支援などについて高い評価をいただいた。 法律相談講演会では、参加型クイズを取り入れたことにより分りやすいと好評であった。				
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）				
	☐ 取り組んだ		取組手法：		
	☒ 取り組まない		【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ）⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 急速に進む地域の高齢化から、当該事業の地域で果たす役割は大きくなっていくと考えられる。				
7 課題	(1)令和2年度に課題とした内容（「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記） 東京都からの補助制度を精査し、最大限の特定財源を確保し、事業運営の安定性が行えるよう情報収集を密にしていく。				
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。 補助対象額の増が認められた（1／2補助）ことから、事業費を増とした。				
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） 東京都からの補助制度を精査し、最大限の特定財源を確保し、事業運営の安定性が行えるよう情報収集を密にしていく。				
	8 施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： 地域福祉の推進 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）				
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） ☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 事業の周知・PRが浸透してきたことにより、新規契約数が増加傾向である。必要に応じて専門職員の体制整備を行う。				
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等				
	現状維持				